

令和 3 年度

事 業 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日から

令和 4 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
令和 3 年 3 月 8 日 ～5 月 1 0 日	アワビ採卵・採苗	協会内
令和 3 年 4 月 7 日	トリガイ種苗生産打合せ	協会内（七ヶ浜町）
令和 3 年 5 月 1 3 日	ホシガレイ種苗搬入	水研機構宮古庁舎
令和 3 年 5 月 1 4 日 ～8 月 2 4 日	アワビ種苗出荷（春季）	協会内
令和 3 年 5 月 2 5 日 ～5 月 2 6 日	令和 2 年度決算監事監査	亘理町、仙台市
令和 3 年 6 月 1 日	みやぎ漁師カレッジ長期研修開講式	県水産技術総合センター大会議室
令和 3 年 6 月 3 日	第 3 2 回定時理事会	パレス松洲
令和 3 年 6 月 1 6 日	令和 3 年度第 1 回広域種資源造成型栽培漁業推進検討会 ※Web会議	県庁
令和 3 年 6 月 2 5 日	松島湾浅海漁業振興協議会役員会	J F 塩釜総合支所
令和 3 年 6 月 1 2 日	第 1 2 回定時評議員会	書面決議
令和 3 年 7 月 5 日 ～9 月 1 6 日	トリガイ種苗生産	協会内
令和 3 年 7 月 6 日 7 月 1 3 日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 3 年 7 月 7 日 ～7 月 9 日	ホシガレイ稚魚（中間育成）放流	県内 7 ヶ所に放流
令和 3 年 7 月 1 4 日	令和 3 年度放流体制緊急転換事業・第 1 回広域協議会 ※Web会議	県庁
令和 3 年 7 月 1 5 日 ～1 0 月 2 2 日	アワビ稚貝搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 3 年 7 月 1 5 日	漁業経営安定対策本部通常総会	宮城県水産会館
令和 3 年 7 月 1 5 日	J F みやぎ・青年部通常総会	ビッグバン(石巻市)
令和 3 年 7 月 1 6 日 ～1 0 月 8 日	ヒラメ出荷（海体感会）	塩釜市内
令和 3 年 7 月 2 0 日	雇用支援事業意見交換会	県庁広報室
令和 3 年 7 月 2 8 日	(株)エフエム仙台取材対応・(株)河北新報社取材対応	協会内
令和 3 年 7 月 2 9 日	宮城県産地魚市場協会総会 水産物流通対策協議会通常総会	グランドパレス塩釜

令和 3 年 7 月 3 0 日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	J F みやぎ・塩釜総合支所 乾海苔入札場
令和 3 年 8 月 3 日 ～8 月 1 2 日	ヒラメ稚魚中間育成・直接放流	県内 1 4 ヶ所に放流
令和 3 年 8 月 6 日	令和 3 年度宮城県さけます増殖協会理事会・通常総会	パレス松洲
令和 3 年 8 月 2 6 日 ～9 月 2 1 日	豊かな海づくり大会用ヒラメ出荷	協会内
令和 3 年 9 月 1 7 日	中部地区栽培漁業推進協議会通常総会	J F 石巻総合支所
令和 3 年 9 月 3 0 日	さけふ化場経営実態調査成果報告	県庁水産業基盤整備課
令和 3 年 1 0 月 2 日	豊かな海づくり大会視察旅行対応	協会内
令和 3 年 1 0 月 3 日	第 4 0 回全国豊かな海づくり大会	仙台市国際フォーラム (特設会場にて参加)
令和 3 年 1 0 月 1 5 日 ～1 1 月 1 8 日	アワビ種苗出荷 (秋季)	協会内
令和 3 年 1 0 月 2 2 日 ～1 2 月 1 0 日	アワビ種苗剥離・選別 (秋季)	協会内
令和 3 年 1 0 月 2 2 日 ～1 0 月 2 4 日	漁師カレッジ短期研修	七ヶ浜町、東松島市、 女川町
令和 3 年 1 1 月 5 日	株式会社 T B M 多賀城工場視察	多賀城市
令和 3 年 1 1 月 8 日 ～1 2 月 1 5 日	令和 4 年度水産多面的機能発揮対策事業打合せ	宮城県漁協七ヶ浜支所、 七ヶ浜町、仙台土木事務所
令和 3 年 1 1 月 1 1 日	令和 4 年度トリガイ種苗生産打合せ	協会内
令和 3 年 1 1 月 1 2 日	宮城県漁船漁業振興協議会総会	パレス松洲
令和 3 年 1 1 月 1 6 日	磯根調査、アワビ親貝調達	石巻市北上町
令和 3 年 1 1 月 1 8 日 ～1 2 月 2 3 日	アワビ親貝購入	宮城県漁協七ヶ浜支所、 歌津支所、唐桑支所
令和 3 年 1 1 月 1 9 日	地元中学生による職場体験	協会内
令和 3 年 1 1 月 2 4 日	公認会計士定期監査	協会内
令和 3 年 1 1 月 2 9 日	第 3 4 回臨時理事会	パレス松洲
令和 3 年 1 2 月 1 日	ホシガレイ水揚協力金打合せ	宮城県漁協本所
令和 3 年 1 2 月 6 日	公益認定申請及び公益法人の運営に関する相談会	仙都会館

令和 3年12月 9日	令和4年度栽培関連事業打合せ	県庁水産業基盤整備課
令和 3年12月22日	岩手県栽培漁業協会施設視察	岩手県大船渡市
令和 4年 1月13日 ～1月18日	ホシガレイ卵搬入	協会内
令和 4年 1月18日	漁業担い手事業・沿岸漁業者確保 総合支援事業履行確認	協会内
令和 4年 1月26日	海域栽培全国連絡会議※Web会議	協会内
令和 4年 2月 7日	令和3年度水産青年フォーラム	仙台国際ホテル
令和 4年 2月15日	令和3年度放流体制緊急転換事業 ・第2回広域協議会 ※Web会議	協会内
令和 4年 3月 7日 ～3月11日	アワビ採卵・採苗（第1回目）	協会内
令和 4年 3月16日	公認会計士定期監査	協会内
令和 4年 3月22日	第35回定時理事会	書面決議
令和 4年 3月22日 ～3月26日	アワビ採卵・採苗（第2回目）	協会内
令和 4年 3月31日	第14回臨時評議員会	書面決議
令和 4年 3月31日	第36回臨時理事会 （代表理事選任）	書面決議

2 組 織（令和4年4月1日現在）

（1）評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	8人	8人

（2）理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1人	8人	9人
監事の数	—	2人	2人

（3）職 員

職員の数	16人	うち常勤	8人
------	-----	------	----

3 賛助会員

令和4年4月1日 現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体 荒浜釣船組合 籬島東部遊漁船連絡協議会 籬遊漁船組合 宮城県釣船業協同組合	亶理町 塩釜市 塩釜市 塩釜市	1 5 0 2 1	H17. 4. 11 H17. 5. 13 H17. 5. 13 R4. 2. 2
小 計 4		1 8	
遊漁船単体 有限会社 きくしん	亶理町	6	H17. 4. 11
小 計 1		6	
遊漁者団体 くろしおフィッシングクラブ 公益財団法人日本釣振興会宮城県支部	塩釜市 仙台市	2 0	H9. 6. 23 H17. 9. 14
小 計 2		2	
釣具店関係 株式会社 竹乃皮屋 えびす屋釣具店（個人会員） みなとや釣具店（個人会員）	仙台市 塩釜市 塩釜市	1 2 2	H17. 9. 14 R4. 2. 2 R4. 2. 2
小 計 3		5	
遊漁関連団体 宮城県定置漁業協会 大友 久義（個人会員、定置漁業者） 有限会社 丸真運輸（個人会員）	石巻市 東松島市 大和町	1 8 2	H17. 9. 14 H17. 6. 2 H19. 1. 25
小 計 3		1 1	
一般団体 有限会社藤澤会計事務所 三浦 弘希（個人会員）	仙台市 仙台市	1 2	R1. 12. 25 R4. 1. 28
小 計 2		3	
合 計 1 5（うち個人会員 5）		団体会員 2 9 口 個人会員 1 6 口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業の取り組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

※ 太字は新規会員を表している。

【 寄附金 】

- ・塩竈カジギ釣り大会実行委員会 10万円（令和3年10月15日）
- ・釣り船 晋漁丸 8万円（令和3年12月24日）

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 3 年 6 月 2 5 日	第 1 2 回定時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 令和 2 年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員及び役員（理事・監事）の選任について 報告事項 1 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 2 令和 3 年度事業の進捗状況について
令和 3 年 8 月 2 0 日	第 1 3 回臨時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 評議員及び理事の選任について
令和 4 年 3 月 3 1 日	第 1 4 回臨時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 評議員及び役員の選任について

(2) 理事会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 3 年 6 月 3 日	第 3 2 回定時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」 決議事項 1 令和 2 年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員会の招集について 3 評議員及び役員（理事・監事）の新任候補者について 4 特定費用準備資金の計画変更について 報告事項 1 令和 3 年度事業の進捗状況について 2 アワビ種苗の生産について 3 コンプライアンスの状況について

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 3 年 8 月 1 3 日	第 3 3 回臨時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事 1 名の選任について 2 評議員及び理事の選定について 3 第 1 3 回臨時評議員会の招集について
令和 3 年 1 1 月 2 9 日	第 3 4 回臨時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」 報告事項 職務執行状況報告（理事長による） 1 新任の評議員並びに理事について 2 基本財産の運用について 3 令和 3 年度上半期の財務状況及び事業の執行状況について 4 令和 4 年度の新規事業について 5 アワビ種苗生産事業について
令和 4 年 3 月 2 2 日	第 3 5 回定時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 令和 4 年度事業計画及び収支予算について 2 特定費用準備資金について 3 就業規則、有期雇用職員就業規則及び財産管理運用規程の一部変更について 4 評議員及び役員（理事・監事）の新任候補者について 5 臨時評議員会（書面による決議）の招集について 報告事項 職務執行状況報告（理事長による） 1 令和 3 年度事業の執行状況（令和 4 年 2 月末日現在）について
令和 4 年 3 月 3 1 日	第 3 6 回臨時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事 1 名の選任について 2 代表理事の年間総報酬について

Ⅱ 事業の進捗状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して6年目となる令和3年度は、アワビ種苗生産事業やヒラメ稚魚の中間育成放流事業を始め、平成30年度から開始したホシガレイ中間育成技術の習得に引き続き取り組むとともに、トリガイ種苗生産を開始した。漁業担い手育成支援事業は節目の5年が経過した。

アワビについては、本県産アワビを親貝として得た幼生を飼育するとともに、岩手県栽培漁業協会から稚貝を購入して、平均殻長25mmの種苗1,032千個を宮城県に納品した。本年度は、飼育水槽内での動物プランクトン増殖による稚貝の減耗や、筋萎縮症によるへい死により、当施設での稚貝出荷は632千個に留まった。

ヒラメの中間育成・放流については、岩手県栽培漁業協会から購入した30mm種苗260千尾の飼育に7月上旬から取り組み、平均全長72～140mm種苗118千尾を10月上旬までに、県内10箇所に配布・放流した。なお、中間育成中のへい死により計画放流数20万尾の確保が困難になったことから、平均全長66mm～70mm種苗94千尾を岩手県栽培漁業協会より搬入し、県北部・南部地区6箇所に直接放流した。また、仙台湾へ放流した中間育成魚6千尾に背鰭上端をカットした標識を付けて放流するとともに、標識ヒラメの採捕報告をお願いするステッカーを作成して、県内の小型底曳網、固定式刺網漁船に配布して放流事業の啓発に努めた。

※ 平成28年度から実施した標識放流で、今年度初めて全長40cm弱の標識魚2尾の採捕報告が、気仙沼及び茨城県からなされた。

さらに、第40回全国豊かな海づくり大会での放流等で使用するヒラメ種苗約10千尾の中間育成を10月上旬まで行った。

ホシガレイの種苗生産技術研修については、令和3年2月に水産研究・教育機構宮古庁舎から受精卵を搬入し、県の指導により育成を行った。生産した稚魚は、7月から10月にかけて全国豊かな海づくり大会関連行事として開催されたリレー放流等に供するとともに、大会予備用として全長123～146mm稚魚6千尾弱を搬出した。また、令和4年1月に同機構宮古庁舎より受精卵25万粒を搬入し、種苗生産に取り組んでいる。ホシガレイの中間育成・放流については、全長60mmの種苗13千尾弱を搬入し、中間育成後の7月上旬に平均全長約93mmの稚魚6千尾強を県内7箇所の地先海面に放流した。

トリガイ種苗生産については、令和3年7月5日から9月16日にかけて実施し、平均殻長5mmの稚貝2,630個を七ヶ浜町東宮浜に出荷した。

資源管理型漁業の推進については、ドローンや潜水による磯焼け漁場のモニタリング調査を実施するとともに、県内各団体が取り組む資源管理型漁業の推進及び漁場環境保全活動を支援する助成制度を前年度に引き続き実施し、4団体に補助金を支出して資源管理型漁業の普及啓発に努めた。

漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城県漁業就業者確保育成センター」を運営し、漁業就業に関する相談・照会等に対応した。さらに、本県では5年目となる「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に際し、受講生募集等を宮城県及び関係機関と連携して取り組むとともに、漁業就業予定の長期研修受講生への支援金受給手続きのサポートを実施した。一般長期研修生2名については、7ヶ月間の様々な研修を修了し、それぞれ希望す

る漁業種類に就業することができた。また、漁家子弟の研修生2名も漁業従事に必要とされる小型船舶操縦免許やフォークリフト等の資格を取得した。

なお、フォークリフト及び小型移動式クレーン運転技能講習資格取得に要する経費について、当協会を通じて受講生に1／2の補助金を交付した。

さらに、3日間の短期研修を10月に開催し、一般研修生10名が参加した。

本年度から開始した漁家の担い手候補者に対する社会貢献型自動販売機の支援金による資格取得支援事業は、小型船舶操縦士免許を始めとする計30件の資格取得者に対し助成した。

また、さけふ化場採捕施設に関する実態調査業務を県から受託することにより、本県の重要な秋さけ資源造成体制の安定を図った。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗の生産

東日本大震災により県内のアワビ資源は大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

令和3年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、種苗の生産・出荷に下記のとおり取り組んだ。

(1) 令和3年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和2年3月から6月にかけて、県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約15,546千個の種苗を飼育し、令和3年5月から8月にかけて、春出荷分として県を通じて県内の漁協各支所等に殻長25mmの種苗342千個を出荷した。

さらに、令和3年10月から11月にかけて、秋出荷分として、殻長25mmの種苗290千個を出荷した。

今年度納品分のアワビ種苗生産は、飼育水槽内での動物プランクトン増殖による稚貝の減耗や、筋萎縮症ウイルスの蔓延による稚貝の斃死により、当協会での生産による稚貝の出荷が、目標1,000千個に対し、632千個に留まったため、岩手県栽培漁業協会から殻長25mmの稚貝400千個を購入して、1,032千個の県内供給を維持した。

【令和3年度アワビ放流種苗の出荷実績】

配布時期	平均殻長 (mm)	配布個数 (千個)	備 考
令和 3年 5月14日 ～8月24日	25	342	当協会にて 生産分
令和 3年10月15日 ～11月18日		290	
令和 3年 7月16日 ～10月22日		400	岩手県より 購入分
合 計		1,032	

(2) 令和4年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和4年3月末現在で平均殻長13～31mm種苗約1,087千個を飼育している。

(3) 令和5年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和5年度放流用種苗の生産に向け、令和3年11月以降に宮城県漁業協同組合の唐桑、歌津、十三浜、セヶ浜の各支所から親アワビ（母貝）を購入し、令和4年3月7日から採卵を開始しており、6月までを予定している。

なお、母貝の養成については、本年度も飼育水槽4槽でボイラー加温水の半閉鎖循環式で実施することにより、重油購入経費の削減に努めた。

2 ヒラメ種苗放流事業

令和3年度も、ヒラメ資源の維持・増大を図るため、当協会の自主事業として中間育成及び229.5千尾の放流を実施するとともに、ヒラメの放流効果等把握のため、背鰭上端をカットした標識を付けて仙台湾へ6千尾を放流した。また、県内主要8港のヒラメ水揚げ状況の把握に努めた。

中でも、中間育成中の7月に選別後のへい死が発生したため、令和4年度は、種苗搬入後、速やかに選別し、収容密度を調整する予定である。

(1) ヒラメ種苗の中間育成及び放流の状況

資源管理型漁業、栽培漁業の推進のためには、広域的な連携のもと継続的な種苗放流が必要であることから、令和3年度は岩手県栽培漁業協会より種苗を260千尾購入し、中間育成後に宮城県及び関係機関と連携して県内各地区に放流した。

なお、中間育成中のへい死により計画放流数の確保が困難になったことから、直接放流用種苗94千尾を岩手県栽培漁業協会より搬入し、県北部・南部地区に放流した。

【令和3年度ヒラメ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗購入先
令和3年 7月6日 ・ 7月13日	平均全長 30mm 260千尾	令和3年 8月3日 ～ 10月8日	平均全長 72mm ～140mm 合計 135.5千尾	岩手県栽培 漁業協会

【令和３年度ヒラメ直接放流の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗搬入先
令和 ３年 ８月 ５日 ・ ８月 １２日	平均全長 6 6 m m ～ 7 0 m m 9 4 千尾	令和 ３年 ８月 ５日 ・ ８月 １２日	平均全長 6 6 m m ～ 7 0 m m 9 4 千尾	岩手県栽培 漁業協会

【令和３年度ヒラメ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流 尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	８月 ５日	大沢漁港	12.5 千尾	70mm	岸壁放流	直接放流
〃	〃	長崎漁港	12.5 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	寄木漁港	12.5 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	袖浜漁港	12.5 千尾	〃	〃	〃
小計			50 千尾			
中部	８月 11 日	小積漁港	16.25 千尾	75mm	岸壁放流	中間育成放流
〃	〃	給分漁港	16.25 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	尾浦漁港	16.25 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	長面漁港	16.25 千尾	〃	〃	〃
小計			65 千尾			
南部	８月 ３日	室浜漁港	10 千尾	72mm	岸壁放流	中間育成放流
〃	〃	閑上漁港	10 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	荒浜漁港 (亘理町)	10 千尾	〃	〃	〃
〃	〃	磯浜漁港	10 千尾	〃	〃	〃
〃	８月 12 日	花刈浜漁港	6 千尾	75mm	地先放流	標識(背鰭 前端部カ ット)中間 育成放流
〃	８月 12 日	花刈・ 松ヶ浜漁港	44 千尾	66mm	地先放流	直接放流

〃	10月8日	松ヶ浜漁港	6.7千尾	140mm	地先放流	中間育成放流
小計			96.7千尾			
	10月8日	全国豊かな 海づくり 大会用種苗	10千尾	140mm	岸壁放流	中間育成放流
	7月 ～10月	塩竈市 海体感会	7.8千尾	50mm ～160mm	〃	〃
合計			229.5千尾			

(2) 水揚げ状況調査

県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた(別添資料)。

令和4年3月末現在の水揚げ量は597トンで前年同期693トンの86%である。水揚げ量の減少とともに、新型コロナウイルス感染症の影響によりヒラメ単価が下落しており、水揚げ金額は4億2千9百万円となり、前年同期4億6千5百万円の92%と減少した。このことによりヒラメ水揚げ協力金は前年同期比89%の2千40万円に留まった。

3 ホシガレイ種苗放流事業

ホシガレイ資源の維持・増大を図るため、関係各機関と連携し、本年度も種苗生産技術研修に取り組んだ。令和3年2月3日、8日及び15日に国立研究開発法人水産研究・教育機構宮古庁舎より受精卵21万粒を搬入し、県水産技術総合センターの指導のもと、飼育技術習得に取り組んだ。育成した稚魚は、全国豊かな海づくり大会前のリレー放流や大会予備用として、全長123～146mmの稚魚5.6千尾を宮城県に出荷した。

また、前年度に引き続き実施した中間育成については、令和3年5月13日に水産研究・教育機構宮古庁舎で生産された全長60mmの種苗12.7千尾を搬入して巡流水槽にて中間育成を行い、7月7日から7月9日にかけて県内7ヶ所に全長93mmの種苗6千尾を放流した。

なお、中間育成の費用については、宮城県資源管理型漁業実践協議会の補助金を充当した。

【令和3年度ホシガレイ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗搬入先
令和3年 5月13日	平均全長 60mm 合計12.7千尾	令和3年 7月7日 ～ 7月9日	平均全長 93mm 合計6千尾	水産研究・ 教育機構 (宮古庁舎)

【令和３年度ホシガレイ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	7月7日	波路上漁港	500尾	93mm	岸壁放流	
〃	〃	日門漁港	500尾	〃	〃	
〃	〃	伊里前漁港	500尾	〃	〃	
〃	〃	袖浜漁港	500尾	〃	〃	
小計			2,000尾			
中部	7月9日	網地島漁港	1,000尾	93mm	岸壁放流	
〃	〃	小積漁港	1,000尾	〃	〃	
小計			2,000尾			
南部	7月9日	松ヶ浜漁港	2,000尾	93mm	地先放流	
小計			2,000尾			
合計			6,000尾			

4 養殖用トリガイ種苗の生産（新規事業）

七ヶ浜町との共同事業として、トリガイの養殖用種苗生産を令和３年７月５日から９月１６日の間実施して、平均殻長５mmの稚貝２,６３０個を、七ヶ浜町東宮浜に出荷した。

5 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため次の事業を実施した。

（１）資源管理型漁業推進支援事業

平成２８年度に積み立てた「資源管理型漁業特定費用準備資金」を活用し、ヒラメやアワビなどの栽培漁業の振興や、県内沿岸における水産資源の永続的な利活用に向けて、関係者と一体になった資源管理型漁業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

事業の実施に際しては、理事会はもとより宮城県関係各課及び公所への説明と、市町・ＮＰＯ団体や遊漁団体等への周知を行った。

1) 各団体への助成事業

	団 体 名	主な活動内容	補助額
1	J F みやぎ・雄勝町東部支所 磯根資源部会	潜水器漁業による効率的なウニの駆除・採捕 外洋に面している地形でのコンブ育成技術開発	200,000
2	J F みやぎ・寄磯前網支所 寄磯支所青年部	コンブ種苗中間育成・成長促進による海中造林 磯焼け防止ウニ駆除	158,000
3	J F みやぎ・唐桑支所	カゴを使った簡易的なウニ駆除 スポアバッグ法を用いたコンブ・アラメの海中造林	200,000
4	J F みやぎ・歌津支所名足出張所 マリンクラブミナト	ウニ駆除後のウニフェンスによる侵入防止 アラメ種苗転石巻き付け投入によるアラメ場の造成	82,000
	合 計		640,000

2) 水産振興協会実施事業

令和3年11月16日に、県中部地区の磯根漁場において、ライントランセクト法による目視潜水調査と、ドローンによる調査海域の空撮及び藻場繁茂状況の確認を行った。

(2) 機関誌等の発行

当協会の機関誌である「ゆたかな海」第7号（別添資料）を令和3年12月に発行し、関係機関に配布するとともに、ホームページにて取組内容や掲載資料を随時更新し、協会の現状や、事業の内容について分かりやすい情報の発信に努めた。

(3) 資源管理意識の啓発

当協会の賛助会員である遊漁船業者及び遊漁者（プレジャーボート）の各団体に対して、協会の現状と事業内容を周知し継続加入を働きかけるとともに、株式会社エフエム仙台のDATE FM放送等を通じて、遊漁船業者及び遊漁者に対して、賛助会員新規加入の呼びかけを実施した。

また、同社が宮城県の協力で企画制作して、宮城県内の小学校5年生全員及び県内自治体に配布した「食育ハンドブック2021」に協賛して、資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発に努めた。

さらに、当協会としては初めてヒラメ種苗放流事業のクラウドファンディングを実施して、広く一般に種苗放流事業の紹介と協力を呼びかけ、令和3年10月8日から12月3日までの募集期間に、3団体7個人から合わせて41万円の支援金納入があった。

(4) 施設見学への対応

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、七ヶ浜町松ヶ浜の種苗生産施設の見学等は極力受け入れを控えたことから、見学者は2団体10名であった。

5 さけふ化放流団体ふ化事業収支状況調査

宮城県からの調査業務を受託し、県内15のさけふ化放流団体の令和2年度事業収支状況について調査を実施し、その概要を取りまとめた。

6 漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

(1) コーディネーターの配置及び相談窓口の設置

令和3年度は漁業担い手育成コーディネーターを配置して、漁業就業希望者の相談にワンストップで対応できるよう相談窓口を設置し運営した。

問い合わせ内訳	求職件数	求人件数
長期研修に係るもの	4件	8件
短期研修に係るもの	10件	養殖業4件 漁船漁業4件
就業支援フェアに係るもの	5件	気仙沼市3件 東松島市2件 塩釜市1件 七ヶ浜町1件 女川町1件
その他	3件	
合 計	22件	

(2) ウェブサイトの作成、運営

漁業相談窓口、長期研修や短期研修の告知・受講生の募集等をサイト訪問者(新規漁業就業希望者等)にアピールするウェブサイトの作成及び運営に努めるとともに、求人情報を掲載した。

また、今年度もFacebookにて「みやぎ漁師カレッジ」に関する研修生の活動状況や、長期及び短期研修募集の情報を発信した。

(3) オンラインイベントへの参加

首都圏を中心に県外から移住定住される方の就業をテーマにした「宮城まるごとオンライン移住フェア」に、宮城県全市町村とともにオンライン参加した。

(4) 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

長期研修及び短期研修の開催・実施にあたり、受講生の募集等を行った。

1) 長期研修の開催

5年目の「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に一般受講生2名、漁家子弟2名の計4名が参加した。受講生は令和3年6月1日から12月16日までの7ヶ月間、宮城県内の各種漁業に関する講義と実習、一級小型船舶免許やフォークリフト免許等の取得に加え、希望する漁業種類について実施される2ヶ月間の専門研修に取り組んだ。

当協会は、受講生に給付される国の支援制度（次世代人材投資型事業等）の紹介と受給手続き等の支援、資格取得補助金等の給付に関する支援を行った。

【令和3年度 「漁師カレッジ」開催実績】

【長期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和3年 6月1日 ～ 12月16日 (7ヶ月間)	宮城県水産技術 総合センター 他現地研修	一般 2名 漁家子弟 2名 合 計 4名	・宮城県の水産業等座学 ・各種漁業の現場研修 ・ロープワーク技術習得 ・小型船舶免許等取得 ・希望漁業専門研修 (2ヶ月)

【長期研修生専門研修受入れ先】

年齢	出身地	専門研修先
28	宮城県多賀城市	南三陸町 カキ・ホタテガイ・ワカメ養殖業、 漁船漁業（定置網、タコ籠漁）
25	宮城県仙台市	南三陸町 ホタテガイ・ワカメ養殖業

2) 短期研修の開催

短期研修は令和3年10月22日（金）から24日（日）までの3日間、七ヶ浜町内、東松島市内、女川町内にて開催した。

当協会は、受講生の募集について、県や関係機関等の方々と連携して運営に取り組んだ。短期研修生1名が、七ヶ浜町海苔養殖業に就業した。

【短期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和3年 10月22日 ～ 10月24日 (3日間)	七ヶ浜町内 東松島市内 女川町内	一般10名	・刺網漁業・海苔養殖業施設 見学及び作業体験 ・定置網・ワカメ・カキ養殖 業作業体験 ・ホヤ・ホタテガイ養殖業作 業体験

(5) 漁業就業者フェア等への参加

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年のような全国漁業就業者確保育成センターによる東京都内会場での「漁業就業支援フェア」には参加しなかった。また、従来の宮城県内での対面型漁業就業支援フェアに替わるものとして、令和3年9月5日、11月15日に、漁業就業支援オンラインフェアが開催され、当協会もリモート参加して求人団体の紹介など、漁業就業に係る情報提供を行った。

(6) 社会貢献型自動販売機の寄附金等による資格取得支援

「みやぎ漁師カレッジ」に参加しない宮城県内漁業就業者の師弟や後継者に対して、業務で必要となる資格取得支援として、各種免許取得申請料や受講料等の1/2を助成した。

助成実績

資 格 名	助成件数	助成金額（円）
一級小型船舶操縦士免許	7	463,815
二級小型船舶操縦士免許	4	179,054
第二級海上特殊無線技士免許	3	56,625
フォークリフト運転技能講習	11	172,253
大型特殊免許技能教習	3	119,818
小型移動式クレーン運転技能講習	2	32,600
計	30	1,024,165

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務業務を受託し、誠実かつ適正に執行し、本県水産業の振興に努めた。

本年度も記録的な秋さけ来遊不漁となったことから、親魚と種苗の確保に向け、事務局として県と連携し県外卵の導入や海産親魚の活用支援に努めるとともに、宮城県に対してふ化団体への経営支援等について要望書を提出した。

資料1-1

令和3年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚状況

令和4年3月末現在

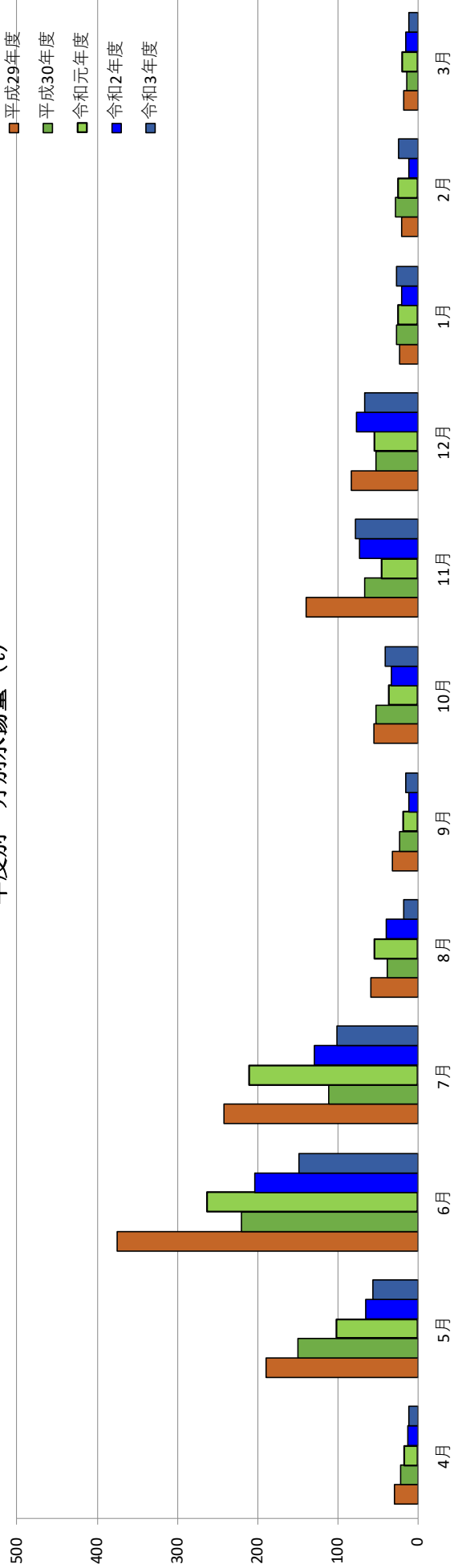
単位：t

水揚量

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	0.6	0.2	0.1	0.4	6.1	0.8	1.4	2.0	29.9	21.9	17.4	13.4	11.4
5月	3.2	1.6	0.4	4.6	20.6	2.2	5.4	18.7	189.1	149.2	102.1	65.5	56.6
6月	6.3	1.9	1.3	15.2	73.6	7.4	13.5	28.6	374.7	220.0	262.6	204.0	147.9
7月	4.4	2.3	0.9	6.9	48.1	4.9	18.6	14.4	242.4	111.4	210.9	129.3	100.5
8月	0.9	0.7	0.1	0.7	6.1	1.6	3.6	4.0	58.4	38.2	54.9	39.8	17.7
9月	1.6	0.7	0.1	0.0	3.0	1.5	3.0	5.5	32.6	23.0	18.9	11.4	15.4
10月	1.9	1.5	0.3	0.0	23.2	1.3	2.2	10.1	54.9	52.2	36.0	33.6	40.6
11月	4.1	1.8	1.2	0.0	44.7	1.7	3.0	21.9	139.2	67.2	45.0	72.4	78.4
12月	2.0	0.9	0.8	0.0	38.0	1.2	1.2	22.1	83.2	52.8	54.4	76.9	66.3
1月	0.6	0.9	0.6	0.1	12.9	0.7	0.6	10.5	22.5	27.0	25.0	19.9	26.8
2月	0.3	0.4	0.1	0.0	19.5	0.3	0.0	3.4	20.8	28.6	24.9	11.7	24.1
3月	0.8	0.6	0.0	0.1	6.0	0.4	1.2	1.9	18.0	13.9	19.2	15.4	11.0
計	26.8	13.6	5.9	28.1	301.9	24.0	53.6	143.1	1,265.7	805.3	871.2	693.2	596.9

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚量（t）



令和3年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚金額状況

令和4年3月末現在

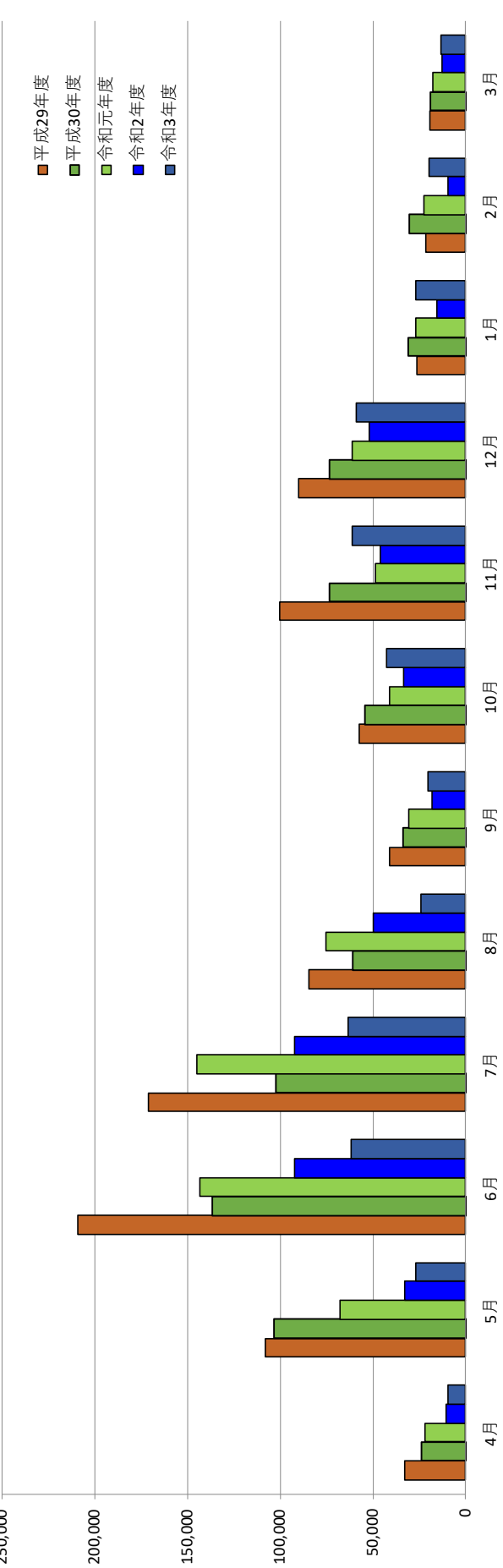
水揚金額

単位：千円

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	816	198	86	276	4,510	818	1,330	1,441	32,650	24,121	22,258	10,448	9,472
5月	2,057	702	167	1,984	9,984	1,417	3,155	7,488	107,918	103,403	67,616	33,136	26,954
6月	3,438	712	491	5,415	28,113	3,515	6,558	13,425	209,193	136,618	143,297	92,431	61,668
7月	3,732	1,267	476	2,962	28,165	4,601	12,217	9,718	170,980	102,160	144,733	92,285	63,140
8月	1,939	987	107	559	8,790	2,489	3,804	5,521	84,365	61,071	75,480	49,803	24,195
9月	2,731	780	151	7	3,650	1,910	3,803	7,160	40,894	33,893	30,687	18,091	20,192
10月	3,288	1,740	421	25	17,058	1,990	3,312	14,747	57,551	54,455	41,048	33,664	42,580
11月	4,328	2,063	1,349	50	24,445	2,376	4,012	22,728	100,549	73,206	48,647	45,885	61,351
12月	3,101	1,382	782	0	22,198	1,488	1,844	28,234	89,715	73,300	61,377	51,848	59,030
1月	990	1,416	446	66	10,834	1,010	890	11,416	26,570	31,185	26,744	15,410	27,068
2月	496	539	133	31	15,527	299	72	2,462	21,432	30,247	22,548	9,727	19,558
3月	1,059	800	52	83	7,426	564	1,411	1,998	19,336	19,042	17,854	12,591	13,391
計	27,975	12,586	4,660	11,458	180,698	22,476	42,409	126,337	961,154	742,702	702,289	465,319	428,599

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚金額（千円）



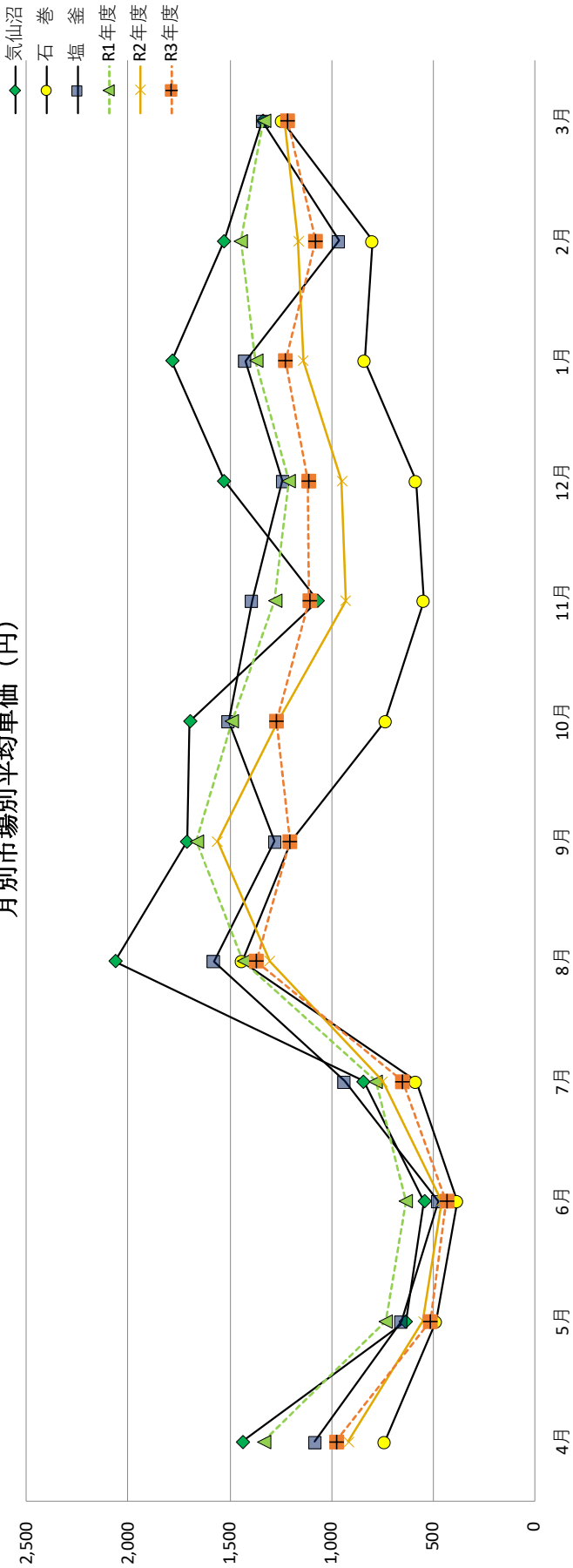
令和3年度月別魚市場別ヒラメ単価

令和4年3月末現在
単位：円

単価	高値		安値													
	4月	5月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
気仙沼	1,439	634	542	634	843	2,065	1,711	1,697	1,529	1,783	1,530	1,340				
志津川	1,239	436	366	436	563	1,472	1,194	1,126	1,473	1,538	1,314	1,268				
女川	913	471	391	471	526	1,222	1,215	1,322	968	754	950	1,230				
牡鹿	744	432	356	432	428	763	454	790	300	827	833	1,071				
石巻	740	485	382	485	585	1,441	1,198	735	547	838	798	1,244				
塩釜	1,083	656	475	656	935	1,578	1,279	1,507	1,393	1,423	963	1,338				
七ヶ浜	926	588	487	588	658	1,052	1,286	1,515	1,545	1,552	1,513	1,195				
仙南	737	401	469	401	676	1,373	1,293	1,467	1,036	1,091	724	1,032				
R3年度	977	513	433	513	652	1,371	1,204	1,270	1,109	1,226	1,078	1,215				
R2年度	917	550	458	550	750	1,304	1,562	1,265	930	1,138	1,163	1,229				
R1年度	1,333	734	635	734	781	1,432	1,664	1,491	1,280	1,372	1,447	1,334				

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

月別市場別平均単価（円）



令和3年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚協力金状況

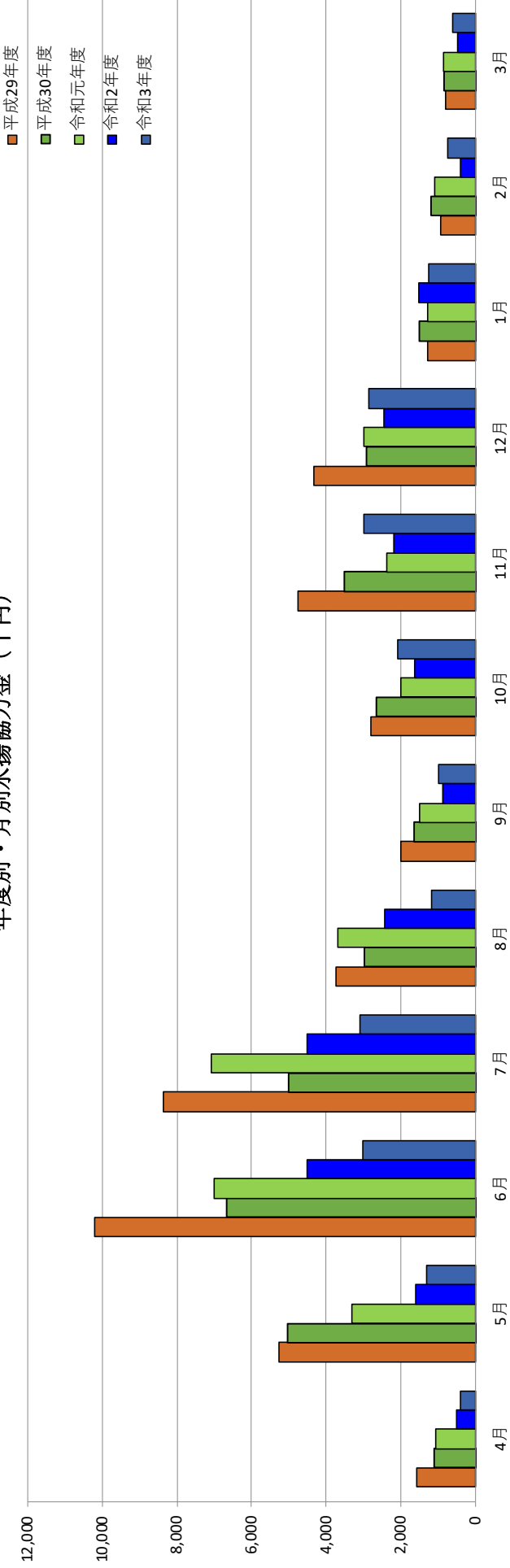
令和4年3月末現在
単位：千円

水揚協力金

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	40	9	3	13	167	40	65	69	1,575	1,104	1,081	506	405
5月	100	34	7	97	484	69	154	365	5,256	5,040	3,305	1,609	1,312
6月	168	35	24	265	1,376	172	321	656	10,201	6,668	7,013	4,511	3,016
7月	182	62	23	145	1,378	225	598	475	8,367	4,999	7,084	4,515	3,089
8月	95	48	4	27	430	122	186	270	3,731	2,988	3,693	2,436	1,182
9月	134	38	7	0	179	93	186	350	1,996	1,656	1,500	882	987
10月	161	85	20	0	834	97	162	722	2,807	2,651	2,006	1,638	2,081
11月	212	101	66	2	1,179	116	196	1,112	4,751	3,521	2,370	2,207	2,984
12月	152	68	38	0	1,049	73	90	1,381	4,338	2,931	2,989	2,467	2,851
1月	48	69	21	2	480	49	44	558	1,274	1,503	1,297	1,538	1,272
2月	24	26	6	1	547	14	3	119	945	1,200	1,097	392	739
3月	52	39	2	3	322	27	69	97	818	852	867	486	610
計	1,367	614	221	555	8,425	1,099	2,075	6,174	46,059	35,113	34,301	23,187	20,529

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚協力金（千円）

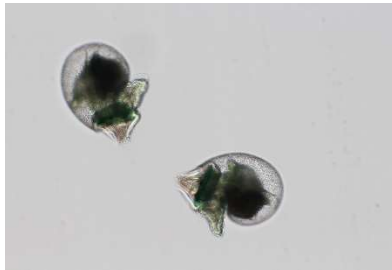


 公益財団法人宮城県水産振興協会だより	2021 年 12 月 6 日 第 7 号	発行 公益財団法人 宮城県水産振興協会 〒985-0812 宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜 字浜屋敷 142 番地の 1 TEL 022-253-6177 FAX 022-253-6178 http://www.mgff.or.jp/
---	--------------------------------------	--

宮城県産アワビ稚貝の出荷

令和 3 年度は、エゾアワビ稚貝約 105 万個の出荷を計画し、5 月 14 日から 11 月 18 日にかけて 103.2 万個（殻長 20.9～45.5 mm）の稚貝を県内 19ヶ所の漁協支所等へお届けするため、県に引き渡しました。

現在は、来年度の出荷に向けた稚貝の飼育および生産に向けた採卵用母貝の準備等を行っています。



アワビ幼生



成長したアワビ稚貝



出荷に向けた
稚貝の袋詰め作業

ホシガレイ稚魚の放流

令和 3 年 2 月 3 日、8 日及び 15 日に（国研）水産研究・教育機構水産資源研究所（宮古庁舎）より搬入したホシガレイ受精卵約 21 万粒を、宮城県水産技術総合センターの指導のもとふ化飼育し、10 月 3 日に県内で開催された第 40 回全国豊かな海づくり大会の放流行事及び関連行事用として、9 月 9 日から 10 月 14 日にかけて 4 回出荷しました。

また、同じく水産資源研究所（宮古庁舎）から 5 月 13 日に搬入した全長約 6 cm のホシガレイ稚魚を、当協会にて約 9 cm まで中間育成した後、約 6 千尾を 7 月 7 日、9 日の 2 日間にかけて県内 7 ヲ所に放流しました。



成長したホシガレイ稚魚



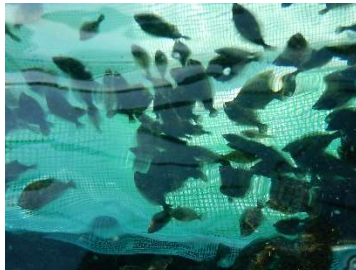
ホシガレイ稚魚の船上放流

ヒラメ稚魚の放流

令和 3 年 7 月 6 日から 8 月 1 2 日にかけて、5 回にわたり（一社）岩手県栽培漁業協会からヒラメ種苗を搬入し、直接放流及び当協会での中間育成放流を併せて約 2 1 万尾を、8 月 3 日から 8 月 1 2 日にかけて県内 1 4 ヲ所に放流しました。放流稚魚の大きさは全長約 7 ～ 8 c m でした。

そのうち、稚魚 6, 0 0 0 尾は、標識として背鰭上端をカットして花渚浜地先（七ヶ浜町）の海域に放流しました。標識ヒラメを再捕された方は、当協会までご連絡下さい。

また、豊かな海づくり大会の放流行事用種苗として、約 1 万尾を宮城県に引渡しました。さらに、湾ダフルしおがま・海体感会実行委員会の主催するイベントに協力して、約 8 千尾を提供しました。



成長したヒラメ稚魚



鰭カット標識を付した
ヒラメ稚魚



ヒラメ稚魚の船上放
流

トリガイの種苗生産

七ヶ浜町からの委託を受け、令和 3 年 7 月に七ヶ浜町産トリガイを使用して人工採卵を行い、約 6 m m に成長した稚貝約 2, 6 0 0 個を 9 月 1 6 日に出荷しました。



成長したトリガイ稚貝



稚貝の出荷（袋詰め）

新規漁業就業者確保育成などに関する取り組み

当協会内の宮城県漁業就業者確保育成センターでは、「みやぎ漁師カレッジ」を開講しています。石巻市、南三陸町を中心に6月から始まっている7ヶ月間の長期研修では、新規漁業就業希望者3名と漁業に就業して間もない漁家子弟2名の計5名が、漁船漁業や養殖業の現地研修及び船舶免許等の資格取得研修に励んでいます。

さらに、3日間の第1回短期研修を10月22日から10月24日まで七ヶ浜町、東松島市、女川町を会場に開催し、10名の受講生が定置網の網起こしや、カキ剥き体験等を行いました。

また、漁業就業に関するワンストップサービスも行っており、漁師になりたい方と漁業の担い手を求める漁業経営体との繋ぎ役を担っていますので、ホームページ（<http://ryoushi-miyagi.org/>）の**お問い合わせフォーム**、または当協会（TEL：022-253-6177）までお気軽にご相談下さい。



長期研修開講式



短期研修閉講式



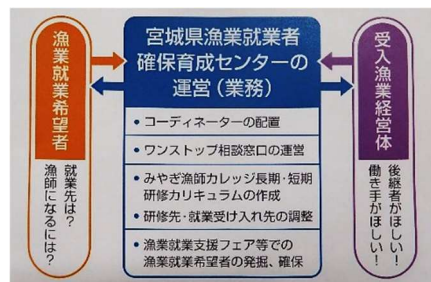
長期研修の様子①



長期研修の様子②



長期研修の様子③



漁業就業者確保育成センターの業務内容